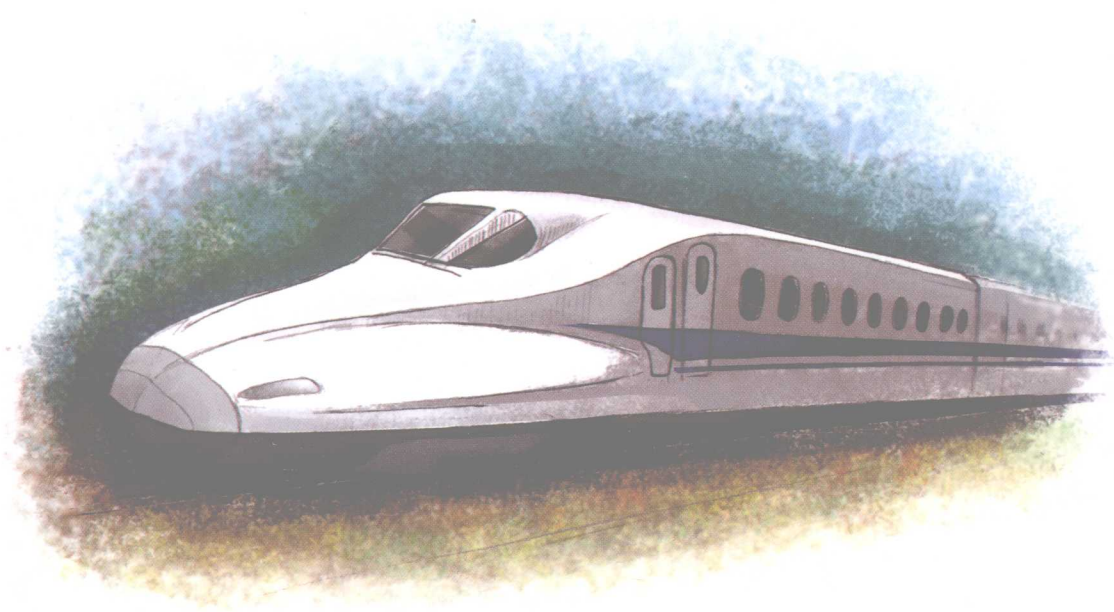


CD 1 枚付

中国語新幹線

中級表現 上

馮富榮 編著

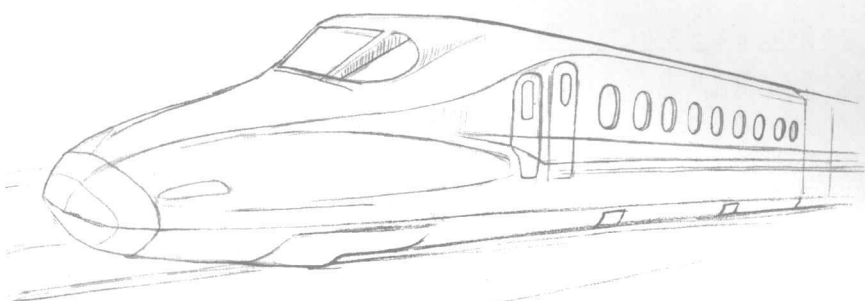


北京语言大学出版社
BEIJING LANGUAGE AND CULTURE
UNIVERSITY PRESS

中国語新幹線

中級表現 上

馮富榮 編著



 北京语言大学出版社
BEIJING LANGUAGE AND CULTURE
UNIVERSITY PRESS

图书在版编目 (CIP) 数据

中国语新干线·中级表现·上/冯富荣编著. - 北京:
北京语言大学出版社, 2008.1

ISBN 978-7-5619-1987-3

I. 中… II. 冯… III. 汉语-对外汉语教学-教材
IV. 195.4

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2007) 第 185780 号

书 名: 中国语新干线·中级表现·上

责任编辑: 郝 颖

封面设计: 苏芳蕾

责任印制: 汪学发

出版发行: **北京语言大学出版社**

社 址: 北京市海淀区学院路 15 号 邮政编码: 100083

网 址: www.blcup.com

电 话: 发行部 82303650/3591/3651

编辑部 82303647

读者服务部 82303653/3908

印 刷: 北京中科印刷有限公司

经 销: 全国新华书店

版 次: 2008 年 4 月第 1 版 2008 年 4 月第 1 次印刷

开 本: 787 毫米×1092 毫米 1/16 印张: 9.5

字 数: 135 千字 印数: 1-3000 册

书 号: ISBN 978-7-5619-1987-3/H·07210
07800 (上、下)

凡有印装质量问题, 本社负责调换。电话: 82303590

编写说明

如果可以把科学分成两大领域：理论科学与实用科学，我们认为对外汉语教学应属于实用科学范畴。因此，在编写本系列教材时，主要着眼于是否实用，是否符合日本学生的口味，更确切地说，也就是本教材能否让日本学生更喜欢学汉语，能否让他们感到自己的汉语确实在提高。以下是本系列教材的编写原则及特点。

一、关于课文的内容

1. 注意和学生的生活密切相关

课文的内容主要取材于大学生的日常生活及日常话题。比如个人介绍、家庭介绍、大学介绍等；另外还编排了个人兴趣、大学生活等日本学生常常谈到的话题。和中国人不同，日本人的日常话题中常常涉及天气，因此，在本系列教材中，我们较早地安排了有关天气的内容。其目的是为了让学生感兴趣并能在日常生活中有练习的机会。

2. 注意介绍中华文化

众所周知，我们在学习任何一种语言时都要了解那种语言所赖以生存的文化，否则就很难理解那种语言的真正含义。学习汉语也不例外。但对一个初学者来说，用汉语学习中华文化可以说不太可能，因此我们在《中级表现》下册中主要介绍了一些中华文化的常识。

3. 注意层层递进

不仅注意课文不断加长、语法点逐渐增多，同时还注意不同的时期有不同的学习重点。比如第一学年主要是汉语基础知识的学习，前期以语音学习，后期以语法基础知识的学习为主。第二学年主要以词语用法的学习为主。

4. 注意句式结构规范及重复出现

尽量避免不规范的句式出现，以免造成学生对组句知识理解的混乱。同时特别注意主要句式的重复出现，通过重复出现加深学生对句式的理解及记忆。比如通过介绍家庭成员每个人的姓与名来加深学生对“姓”和“叫”的区别的理解，使学生能熟练掌握“姓”与“叫”的用法。

二、关于语法等注释方法

1. 注重和日语进行比较

和幼儿不同，成人学外语的特点是不断地受到母语的影响。日本大学生在学习汉语时，同样也在受到母语——日语的影响。汉语中与日语相同的部分，日本人比较好学，相异的部分比较难学。通过与日语进行比较，可以帮助日本学生找出学习中自己不容易发现的问题，可以帮助他们尽快地掌握汉语。

2. 着重如何使用

与其说是从语法学的角度，不如说是从语用学的角度对语法现象进行说明。比如在说明“了”时，没有袭用“了”为“完成态”的解释方法，而是说“了”与日语的过去时“た”相似，其目的是为了便

于日本学生学汉语。因为对一个日本学生来说，要想理解“他已经看了那个电影”中的“了”和“昨天他看那个电影了”中的“了”有什么不同，实在是难上加难。

3. 力求简明扼要

有时，要想解释清楚一些语法现象，需要大量的篇幅。但如果那样，会使学生感到汉语难学难懂。为了避免此现象发生，本教材在语法或词语注释上，力求简单明了，通过例句来加深学生的理解。注意让近义词同时出现，同时注释，以帮助学生对其不同之处的理解。比如“愿意”和“想”、“一点儿”和“有点儿”等等。

三、关于练习

1. 注重词序排列的训练

可以说能否学好汉语的关键在于学生能否掌握汉语的词序排列规律。而汉语的词序在很大程度上是依赖于时序的，比如说“下雨了”和“雨停了”就是其中一例。而这两句的日语，其谓语的位置是一样的，均在句尾。因此，从《初级表现》（上）的第六课，即语音学习结束后开始，每课都安排了词序排列练习。

2. 注重近义词的区别使用

可以说汉语学习的难点在于近义词的使用上，因此在每课练习中都安排了近义词的使用练习。比如“姓”和“叫”、“我们”和“咱们”、“也”和“又”等等。

3. 针对学生学习中容易出现的问题加强训练

力求通过练习来解决学生学习汉语中容易出现

的问题。比如量词和介词的使用、“了”的位置等等。特别是在选词填空练习中，为了帮助学生解决学习汉语时容易出现的问题，有时甚至加入了一些汉语中不会出现选项，比如《初级表现》（下）第九课“我们学校____有 6000 个学生。”的选项中，加入了“合计”一项，这是因为日本学生受母语的影响，容易使用“合计”的缘故。

4. 帮助学生进行 HSK 考试训练

练习题的出题方式尽量模仿 HSK 的考题方式，其目的是为了让学生更多地接触 HSK 考题，以便能更早地参加 HSK 考试，并能取得较好的成绩。

5. 尽量重复课文的内容

理解和掌握是两个不同的概念，理解并不等于掌握。只有经过多次反复接触、反复记忆才能掌握一种语言现象。尤其是在《中级表现》课本中，为了让学生能掌握课文中学过的东西，我们在练习题中加入了大量的有关课文内容的练习。特别注意让学生重复练习课文中的易于忽视的学习难点，以便加强学生的理解和记忆。

本教材尽管在编写过程中作了很多尝试，包括教学尝试，但肯定还会有这样那样的不足，恳请各位老师给予批评指正！同时，在此向对本教材编写及出版给予大力支持的北京语言大学出版社表示衷心的感谢！

日本爱知淑德大学

冯富荣

編集にあたって

科学を理論科学と実用科学という2大領域で区分することができるというのならば、対外中国語教育は、実用科学の範疇に入ると考えられます。本シリーズの教材を編集するにあたって、まさに、実用的であるか否か、日本の学生に合うか否かを最大の課題としました。より具体的に言うと、日本の学生たちは本教材の学習によって、中国語の学習が好きになり、なおかつ自分の中国語のレベルが確実にアップしていると実感できるようになってもらうことを本教材の編集の狙いとしました。以下、本教材の編集方針及び本教材の特色について説明しましょう。

一、本文の内容について

1. 学生の生活と関連付けること

できるだけ、大学生の日常生活や日常の話題を本文に取り入れるように注意しました。たとえば、自己紹介、家族の紹介、大学の紹介などを本文の内容としました。そのほかに、個人の趣味や愛好、そして大学の生活など日本の学生たちが日々よく触れる話題を本文の内容に入れました。中国人とは違い、日本人は日常生活の中で、天気を話題にすることが多いため、本教材の比較的早い段階で、天気

に関する表現を載せました。狙いは、学生に中国語の学習に興味を持たせ、日常生活で習った中国語を練習する機会を提供しようとするところにあります。

2. 中国の文化も併せて紹介すること

ご存知のように、いかなる言語でもその言語を生み出している社会文化により支えられて機能しています。ゆえに、第2言語を学習するとき、その言語を支えている社会文化も合わせて学習しなければなりません。なぜならそうでなければ、その言語の真の意味を理解するのが難しいからです。第2言語としての中国語の学習も例外ではありません。しかし、中国語の初心者にとっては、中国語を道具にして中国の文化を学習するのは不可能に近いものがあります。従って、私たちは、《中級表現》の後半の本文には中国の文化に関する知識を取り入れました。

3. 内容を徐々に膨らませること

本文の長さも、文法のポイントも徐々に増やすように配慮したほか、学習の異なる期間に合わせて、異なる文法のポイントを入れるようにしました。たとえば、中国語に関する基礎知識の学習を第1学年の中心課題とし、前半は発音の学習に、後半は文法の基礎知識の学習に重点を置きました。第二学年では、言葉の使い方を学習の主要な課題としました。

4. 構文の規範性と重複性に力を入れること

規範文法から逸するような短文は、構文知識の構築に支障をもたらしかねないため、極力避けるようにしました。そのほか、常用文型を繰り返し使うことにより文型に対する理解を深め、頭に残りやすいことを図りました。たとえば、“姓”と“叫”の区別を理解させ、それぞれの使い方をマスターさせるために、家族メンバーの苗字と名前を一人ずつ紹介することにしました。

二、文法のポイントについて

1. 日本語との比較を重視すること

外国語を学習する際、幼児と違って、成人の特色は母語から絶えず影響を受けることです。勿論、日本の大学生も、中国語を学習するとき、自分の母語、つまり日本語から影響を受けてしまいがちです。中国語の中で、日本語と類似する部分は日本人にとって学習しやすいですが、異なる部分の学習は比較的困難です。なぜなら中国語としては間違っているが、日本語としては正しいため、正しいと思い勝ちなのです。そういう学生自身が気づきにくい問題点を早期に発見してもらうために、より早く中国語をマスターしてもらうために、日本語との比較に力を入れました。

2. 言葉の使い方を中心に説明すること

ポイントを説明するとき、文法の角度からというよりも、言葉の使い方の説明に力を入れました。たとえば、“了”を説明するとき、「完了ボイス」という従来の説明を踏襲するのではなく、『日本語の過去を表す助詞「た」と似ている』と説明しました。要するに、日本人の学生にとって理解しやすい説明をしようというのが狙いです。なぜならば、“他已经看了那个电影”の“了”と“昨天他看那个电影了”の“了”の違いを理解することは彼らにとって難しすぎるからです。

3. 簡単且つ明瞭であるようにすること

難しい文法が理解できるように説明しようとする、しばしば大量な解説を必要とします。しかし、それは往々にして、中国語は学習しにくく、分かりにくい言語という印象を学生に与えてしまいます。それを避けるために、本教材では、文法などを説明するとき、できるだけ分かりやすいように、簡単で明瞭な言葉を選びました。その代わり、例文を並べ、例文を通して文法などへの理解を深めることを狙いました。類似語の違いをよりよく理解してもらうために、できるだけ類似語を同時に説明するように注意しました。たとえば、“愿意”と“想”や、“一点儿”と“有点儿”などです。

三、練習について

1. 言葉の並べ方を重点的に訓練すること

中国語をマスターすることができるか否かの鍵は、中国語の言葉の並べ方に関する規則をマスターできるかどうかにあると言っても過言ではありません。たとえば、“下雨了”と“雨停了”から分かるように、中国語の語彙の順序は、時間を軸とすることが多いです。しかし、日本語は中国語と違って、左記の二つの例の述語は位置が同じで、みな語尾にあるのです。従って、発音の学習が終わった後の《初級表現》の第6課から、すべて言葉の並べ方の練習を設けました。

2. 類似語の用法の違いを重点的に説明すること

中国語の学習者にとって、類似語を区別して正しく使うのは非常に困難です。なので、類似語の用法に関する練習を各課に設けました。例えば、“姓”と“叫”、“我们”と“咱们”、“也”と“又”などです。

3. 中国語学習によくある間違いに注意を喚起させるための訓練を多く取り入れること

練習問題を解くことによって、中国語学習によく出る問題を解決する手助けをしようと試みました。例えば、よく間違いを起こす中国語の単位使い方や前置詞の使い

方、そして“了”の位置などの練習をたくさん設けた上、穴埋め練習問題に中国語の中にはあり得ない選択肢までも入れました。例えば、《初級表現》(下)の第9課の練習問題で、“我们学校_____有6000个学生。”の選択肢に“合計”を入れました。それは、日本の学生は母語からの影響で、“合計”という選択肢を選びやすいからです。

4. HSK試験の対策訓練を可能にすること

HSKの問題様式に倣って練習問題を作りました。狙いは、HSKの試験問題にできるだけ多く触れさせ、より早くHSK試験を受けられるように、またよりよい成績を収められるようにするためにあります。

5. 本文の内容を繰り返して出現させること

理解とマスターとは、違う次元の話です。即ち理解することはイコールマスターすることではありません。ある言語知識をマスターするには、何度も接触し、何度も覚えなければなりません。そのため、《中級表現》の中に、本文と関連のある内容をたくさん練習問題に取り入れました。狙いは、繰り返し練習することによって本文で習った内容をマスターしてもらうことにあります。つまり、本文の中で見逃しやすい問題点を繰り返し練習させることによって、学生の理解を深め、記憶を新たにします。

この教材を編集する際、教え方などを含めた試みをいろいろと吟味したにもかかわらず、足りないところがきっと多々あるのではないかと思います。ここで、各先生からのご指導と貴重なご意見をぜひとも仰ぎたいと思います。なお、この教材の出版にあたって、多くの支援と支持を頂いた北京語言大学出版社に心からの感謝を申し上げます。

日本愛知淑徳大学

馮富榮

使用说明

本系列教材主要是以日本的大学生为对象编写的，可供日本大学生在校期间的汉语学习或短期留学速成班使用。本系列教材分为《初级表现》（上、下）和《中级表现》（上、下），共四册。每册为七课，每课的学习课时为四小时，即两节课。因此，一册的学习时间为十四节课——日本大学的一个学期，上、下两册为一个学年。如果用于短期留学，我们建议一天设三节课，则上、下两册刚好满足一个月的速成班。

《初级表现》（上、下）以大学一年级或其他年级的汉语初学者为对象。《初级表现》（上）着重语音的学习，特别是前五课主要以学习语音、语调为主。但如果一节课 90 分钟，全部用于语音或语调的练习，学生可能会感到枯燥乏味，也可能会感到汉语难学。为了避免此现象发生，我们建议在前五课中，老师适当地加入一些日常会话，或一些有关中国文化的话题，中间穿插练习语音和语调，以此来提高学生学习汉语的兴趣。

我们还建议不要对发音要求过高或过严，要考虑到学生自身的局限性。就像一个成年人无法改变乡音一样，一个日本大学生很难一下子发出和中国人一样的语音，特别是前鼻音和后鼻音的区别对日本学生来说更是难上加难。因此，在教他们前鼻音和后鼻音的区别时，不宜急于求成。如果一个学生十次甚至二十次地被纠正发音还感到发不好时，也许就会知难而退，从而放弃汉语的学习。

发音的学习过程是一个循序渐进的过程，因此掌握汉语发音的要领不在于一时的执著，而在于平时不断的积累。因此，我们建议在一年级的第一学期，每次上课时先做一些汉语发音及语调的练习，直到学生完全掌握了汉语发音基础为止。

可以说,《初级表现》(上、下)是汉语基础知识的概括。比如里面包含了“是”、“有”、“在”、“姓”和“叫”等动词的用法,还包含了“动词谓语句”、“被动句”、“兼语句”、“把字句”及“补语”等语法现象的说明。其目的是让学生通过《初级表现》(上、下)的学习,对汉语有一个比较完整的了解。

《中级表现》(上、下)以二年级以上的学生,即有一年汉语学习经历的学生为对象。《中级表现》(上、下)着重说明汉语的词语应该如何使用。如果说一年级汉语教学的主要任务是提高学生对汉语学习的兴趣,掌握汉语的基础知识,那么二年级汉语教学的主要任务应该是提高学生的汉语交际能力。因此,对二年级的学生来说,学会如何使用汉语词汇尤为重要。

《中级表现》(上、下)每课都设有六项练习:练习一主要以课文中容易忽视的难点为内容,通过填空练习的方式加强学生对词语及语法点的记忆,从而真正能掌握学过的知识。练习二也是以课文为内容,通过回答提问的方式进一步加深学生对课文的理解。练习三是词序的排列,可以帮助学生更好地掌握汉语的组句规则。练习四的内容基本上与课文无关,主要目的是帮助学生扩充汉语知识,增加词汇量及惯用语知识,以便在 HSK 考试中能取得优异的成绩。练习五是填字练习,内容大多选自课文。本项填字练习,力图帮助学生进一步掌握量词、介词及补语等的正确使用。练习六是日译中翻译训练,一是力图考核学生是否真正掌握了本课学过的内容并能灵活运用,二是希望通过此训练来提高学生的汉语作文能力。

以上是我们对使用本书的一些建议,谨供参考。如有不足之处,望给予指正。

日本爱知淑德大学

冯富荣

使用説明

本シリーズは、日本の大学生を対象として製作されたものです。日本国内の大学における中国語学習の教材としては元より、短期留学先での集中講義にもお使いいただけます。シリーズ内容は、《初級表現》（上・下）と《中級表現》（上・下）の計4冊で、各教材は7課で構成されており、各課の学習時間は平均4時間、講義換算で2コマ分となっております。したがって、一冊の学習時間は14コマ、つまり日本の大学の半期分に相当し、上・下2冊でちょうど1年分の教材ということになります。短期留学にてお使いいただく場合には、上・下2冊を一ヶ月で修了できるよう、1日に3コマの授業を設けることをお勧めいたします。

《初級表現》（上・下）は大学一年生、もしくは他の学年であっても中国語の初心者である学生を対象としております。《初級表現》（上）では発音の学習に重点を置き、中でも1～5課は、発音と声調の学習に力を入れた内容となっております。しかしながら、1コマ90分の講義をすべて発音や声調の学習に費やすというのも、無味乾燥なことでしょうから、この部分の指導の際には、講義担当の先生方に初歩的な日常会話や中国の文化に関する話題などを提供していただきたく存じます。このような知識をはさ